



# 第47回 愛媛形成外科研修会

## 抄録集

日 時 令和3年12月4日(土)17時00分～  
場 所 松山市民病院 永頼会館2階 多目的ホール  
松山市大手町2丁目6-5  
TEL:089-943-1151(代)

当番世話人

松山市民病院 形成外科 手塚 敬

## 第 47 回 愛媛形成外科研修会

### 研修会について

1. 参加受付は、16 時 30 分より会場で行います。
2. 参加費として 2,000 円を受付にて申し受けます。
3. 演者の方でまだ研修会会員でない先生は、入会の手続きをお取りください。
4. 一般演題での発表時間は、一題あたり5分と3分、質疑応答は3分を予定しています。
5. PC は Windows 10、PowerPoint 2016 を使用しての発表になります。  
(当日は、USB メモリーあるいは PC 本体をお持ちください。)
6. 当日、駐車場ご利用の方は無料ライターを準備しております。  
駐車券を受付までお持ちください。

### COVID-19 対策について

1. 来場前には、各々必ず検温を行い、会場へお越しください。
2. 常時マスクを着用してください。
3. 座長席、演台前に消毒液を設置いたしております。  
マイク、マウス、レーザーポインター等ご利用の前後には、手指消毒をしてください。  
マイクは、その都度消毒いたします。
4. 3密回避のため、会場では十分に間隔をあけてお座りください。

## 会 歴

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第1回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	松山成人病センター	平成10年7月4日	15名
第2回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会研修所	平成10年12月5日	17名
第3回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病センター	平成11年6月19日	20名
第4回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成11年11月27日	19名
第5回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成12年6月24日	17名
第6回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成12年12月9日	20名
第7回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年6月23日	23名
第8回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年12月8日	23名
第9回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成14年6月8日	27名
第10回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成14年12月14日	27名
第11回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成15年6月28日	25名
第12回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成15年12月13日	25名
第13回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年6月26日	26名
第14回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年12月4日	29名
第15回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成17年6月18日	31名
第16回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成17年12月10日	35名
第17回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成18年6月24日	31名
第18回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成18年12月9日	26名
第19回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年6月16日	37名
第20回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年12月15日	30名
第21回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成20年6月14日	30名
第22回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成20年12月6日	30名
第23回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年6月27日	32名

会期	世話人	会場	日時	参加者
第24回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年12月12日	28名
第25回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成22年6月19日	34名
第26回	田中 伸二 (石川病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成22年12月11日	30名
第27回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年6月18日	31名
第28回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年11月26日	25名
第29回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	えひめ共済会館 4階 末広	平成24年6月23日	34名
第30回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成24年12月1日	26名
第31回	田中 伸二 (HITO病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成25年6月22日	36名
第32回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	にぎたつ会館 2階 楓の間	平成25年11月30日	30名
第33回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成26年6月21日	32名
第34回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 新館カファレンス会議室	平成26年11月29日	32名
第35回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成27年6月27日	36名
第36回	田中 伸二 (HITO病院 形成外科)	HITO病院 3階 大会議室	平成27年11月21日	27名
第37回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2階多目的ホール	平成28年6月11日	32名
第38回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	平成28年12月10日	30名
第39回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 3階中会議室①②	平成29年6月24日	36名
第40回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 本館3階研修室	平成29年12月9日	32名
第41回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4階多目的ホール	平成30年6月9日	27名
第42回	田中 伸二 (HITO病院 形成外科)	HITO病院 3階 大会議室	平成30年12月1日	28名
第43回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟3階研修室	令和元年6月22日	31名
第44回	中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 管理棟1階 講堂	令和元年12月7日	37名
第45回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	オンライン開催	令和2年12月12日	28名
第46回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	オンライン開催	令和3年6月12日	35名

## 松山市民病院へのアクセス

**松山市民病院**  
松山市大手町2丁目6-5

- JR松山駅から徒歩5分
- 伊予鉄横河原線・大手町駅から徒歩3分
- 松山自動車道・松山ICから車で約20分
- 松山空港から車で約20分
- 松山観光港から車で約25分



### 車の進入経路

病院周辺道路は**一方通行**がありますのでご注意ください。

表示箇所のほかにも病院駐車場がありますが、休日は開いていませんので、表示の駐車場をご利用ください。



松山市大手町2丁目6-5 TEL: 089-943-1151

お車で来られた方に無料駐車券を配布します

## プログラム

### Section I (17:00~17:40)

座長:松山市民病院 手塚 敬 先生

1. 紹介いただいた眼瞼痙攣 2 例の治療報告 (5 分)

松山市民病院 形成外科 手塚 敬 他

2. Nuck 管に発生した子宮内膜症の 1 例 (5 分)

四国がんセンター 形成・再建・皮膚腫瘍外科 中山 盛皓 他

3. 手術加療を強く希望して来院した女性化乳房の一例 (5 分)

南松山病院 形成外科 檜垣 ひろみ 他

4. 右耳垂 Merkel 細胞癌で治療に難渋した 1 例 (5 分)

愛媛県立中央病院 形成外科 伊藤 綾美 他

5. セフメタゾール投与での左上肢皮下膿瘍の加療中に意識障害をきたした末期腎不全患者の 1 例 (5 分)

松山赤十字病院 形成外科 阿古目 健志 他

休憩 (10 分)

### Section II (17:50~18:30)

座長:松山市民病院 木村 千寿 先生

6. DIEPflap による乳房再建の 3 例 (5 分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 泉本 真美子 他

7. 前仙骨部に生じた epidermoid cyst の一例 (5 分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 川野 貴大 他

8. 薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) に対して腓骨再建後、顎補綴を装着した 1 例 (5 分)

四国がんセンター 歯科 古川 康平 他

9. 大腸癌の肛門部皮膚転移を切除・再建した 1 例 (5 分)

住友別子病院 形成外科 安井 史明

10. 当院における AGA に対する発毛治療の経験 (3 分)

HITO 病院 形成外科・美容外科 戸田 皓大 他

総会 (18:30~)

Section I (17:00~17:40)

座長:松山市民病院 手塚 敬 先生

1. 紹介いただいた眼瞼痙攣 2 例の治療報告

松山市民病院 形成外科

○手塚 敬、上村 由美子、木村 千寿

(5 分)

症例 1

61 歳女性。眼瞼下垂手術を受けるも改善なく、紹介。強い間代性眼瞼痙攣を認めた。上眼瞼ミューラー筋部分切除 ADM、眉毛挙上、眼輪筋部分切除、下眼瞼 ADM など複数の手術でようやく軽快した。

症例 2

71 歳男性。未治療症例。指を使わないと開瞼不能で、広頸筋を含む強い顔面痙攣あり。上眼瞼 ADM 眉毛挙上と眼輪筋他の部分切除で全快した。

2. Nuck 管に発生した子宮内膜症の 1 例

四国がんセンター 形成・再建・皮膚腫瘍外科

○中山 盛皓、河村 進、山下 昌宏

(5 分)

47 歳女性。6 年前から月経時に疼痛を伴う右鼠径部皮下腫瘤を自覚し前医を受診した。右鼠径部リンパ節腫脹と診断され経過観察していたが、間欠的疼痛が改善しないため当科へ紹介された。MRI 検査で右鼠径部にやや境界不明瞭な結節を認めた。切除生検で Nuck 管に発生した子宮内膜症と診断された。成人女性の Nuck 管に発生した子宮内膜症の 1 例を経験したので、若干の文献的考察を加え報告する。

### 3. 手術加療を強く希望して来院した女性化乳房の一例

<sup>1)</sup>南松山病院 形成外科、<sup>2)</sup>愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○檜垣 ひろみ<sup>1)</sup>、野澤 竜太<sup>1)</sup>、中岡 啓喜<sup>2)</sup>

(5 分)

症例は 32 歳男性。近医乳腺クリニックで特発性女性化乳房と診断され、手術加療を希望して受診した。問診にて多量のプロテイン摂取を行なっている事が判明し、採血で複数のホルモン異常を認めたため、内科加療が優先されるべきであると考えられた。文献検索の結果、プロテインに含まれる植物性エストロゲンが女性化を引き起こす可能性が示唆された。安易に手術加療を行うべきでは無い教訓的な一例を経験したため報告する。

### 4. 右耳垂 Merkel 細胞癌で治療に難渋した 1 例

愛媛県立中央病院 形成外科

○伊藤 綾美、中川 浩志、川浪 和子、石野 憲太郎

(5 分)

症例は 78 歳女性。約 3 カ月前からの耳垂の腫脹で当科紹介受診、生検の結果 Merkel 細胞癌と診断した。全身検索を行い、cT2 N1 M0 Stage III であった。耳鼻咽喉科と合同で、腫瘍の拡大切除+耳下腺浅葉切除+リンパ節郭清+広頸筋皮弁を施行した。耳下腺への転移を認め pT3pN0pM1c, pStage IV であった。術後血腫の貯留のため皮弁が一部壊死し、再度双葉皮弁として広頸筋皮弁を挙上するも皮弁と下床が密着しないため、デブリードマン+陰圧閉鎖療法施行した。既往に自己免疫性肝炎があり、PSL 15mg/day で内服中であった。



5. セフメタゾール投与での左上肢皮下膿瘍の加療中に意識障害をきたした末期腎不全患者の 1 例

松山赤十字病院 形成外科

○阿古目 健志、庄野 佳孝

(5 分)

80 歳男性。1 ヶ月前に左中指が壊死し、デブリードマン目的に当科紹介となった。抗生物質などの薬剤は、副作用により稀に中枢神経症状をきたすことが知られているが、原因薬剤の同定や基礎疾患による代謝性脳症との鑑別は難しい。今回我々は、セフメタゾール投与中に意識障害を呈した症例を経験したため、本症例について、若干の文献考察を含めて報告する。

休憩 (17:40~17:50)

Section II (17:50~18:30)

座長:松山市民病院 木村 千寿 先生

6. DIEPflap による乳房再建の 3 例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○泉本 真美子、浅野 遥奈、川野 貴大、眞田 紗代子、松本 麻由、戸澤 麻美、森 秀樹、中岡 啓喜  
(5 分)

乳がんに対する乳房全摘出術後の乳房再建の術式として、当科ではこれまで SBI、有茎広背筋皮弁、有茎腹直筋皮弁による方法を用いてきた。今年度より DIEPflap による再建を導入し、2021 年 4 月から 2021 年 9 月までに 3 例施行したので経過を報告する。

7. 前仙骨部に生じた epidermoid cyst の一例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○川野 貴大、森 秀樹、浅野 遥奈、泉本 真美子、眞田 紗代子、松本 麻由、戸澤 麻美、中岡 啓喜  
(5 分)

症例は 79 歳男性。1 年半前に前医で CT 検査を施行したところ骨盤内に腫瘤性病変を認めた。経過観察となっていたが、1 年後の CT 検査にて腫瘤性病変の増大を認めたため、当科に紹介となった。MRI 検査にて仙骨に接し直腸に隣接する多房性嚢胞腫瘤を認め、仙骨を離断し全摘出を行った。病理検査にて epidermoid cyst の診断であった。仙骨部に発生する症例は稀であると考えられるため、若干の文学的考察を加えて報告する。

8. 薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) に対して腓骨再建後、顎補綴を装着した 1 例

<sup>1)</sup>四国がんセンター 歯科、<sup>2)</sup>形成・再建・皮膚腫瘍外科

○古川 康平<sup>1)</sup>、河村 進、山下 昌宏、中山 盛皓<sup>2)</sup>

(5 分)

薬剤関連顎骨壊死は、BP 製剤や denosumab の重篤な副作用としてがん分野では数%発症するとされている。進行した場合、顎骨の切断が必要になる。今回、甲状腺がん骨転移に対して denosumab 使用中に、難治性の MRONJ を発症した症例に対して下顎区域切除および遊離腓骨皮弁による再建後、早期に顎補綴を装着した症例を報告する。

9. 大腸癌の肛門部皮膚転移を切除・再建した 1 例

住友別子病院 形成外科

○安井史明

(5 分)

大腸癌は、遠隔転移巣に対しても可能であれば切除が推奨されている。症例は48歳の男性で、肛門部の結節を主訴に紹介受診され、精査にて大腸癌皮膚転移と診断された。大腸癌の手術と同時に、転移巣の切除と殿溝皮弁による再建を行った。大腸癌は皮膚転移自体が比較的稀であり、若干の文献的考察を加えて報告する。

10. 当院における AGA に対する発毛治療の経験

HITO 病院 形成外科・美容外科

○戸田 皓大、中西 秀樹、田中 伸二、米田 武史

(3 分)

当院で行っている美容治療のなかで、AGA に対する発毛治療のひとつとしてフィナステリドとミノキシジ  
ルを併用した内服治療(商品名:ドクターズヘア)を行っている。2016 年度から 2020 年度までの 5 年  
間における治療経験について報告する。

総会 (18:30~)

1. 次回研修会の日程

2. その他